

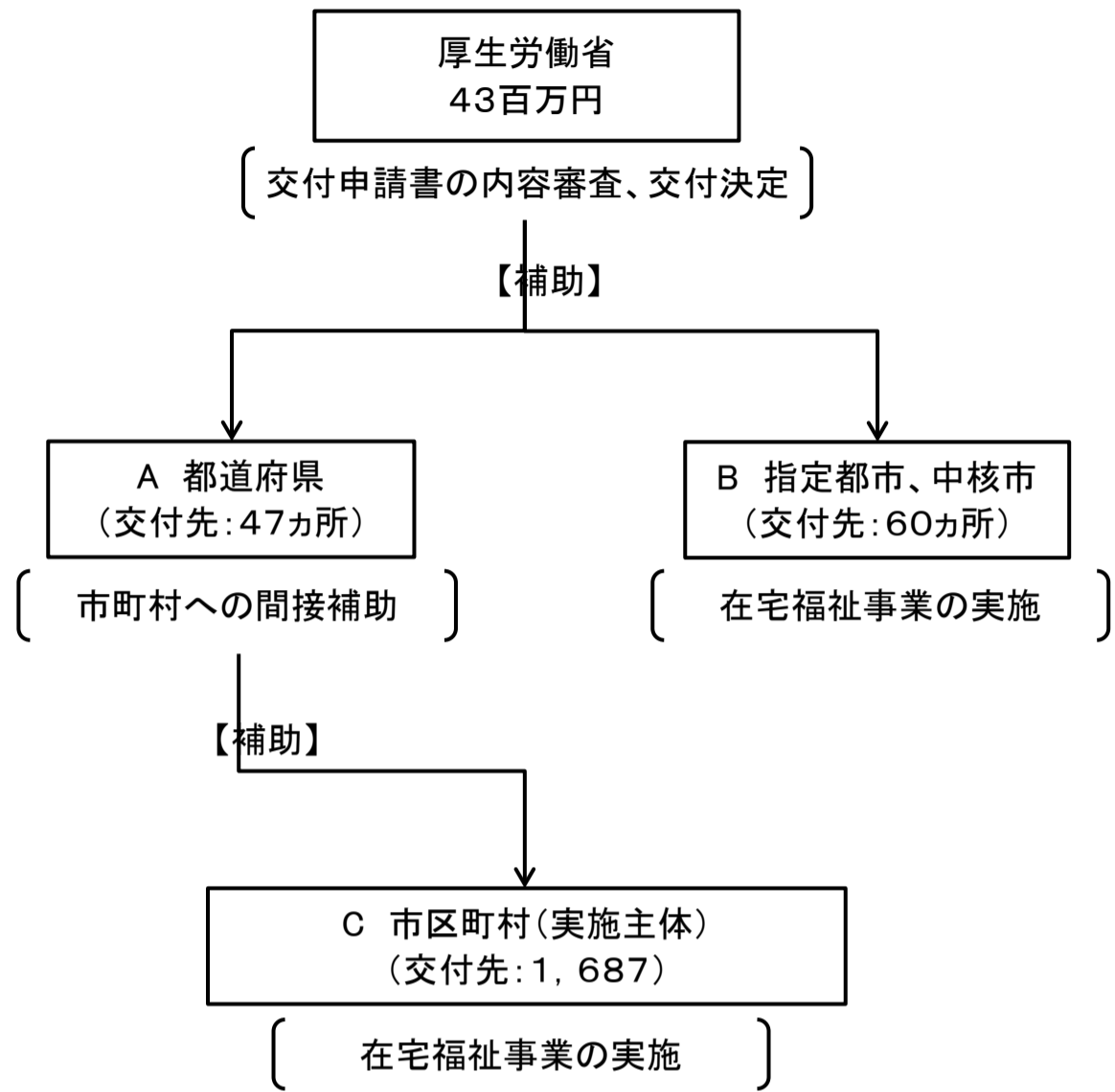
平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	在宅福祉事業費補助金 ((項)母子保健衛生対策費)		担当部局庁	雇用均等・児童家庭局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	母子保健課		泉 陽子		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅲ-1-1 妊産婦、乳児及び幼児の保健指導及び健康診査等母子保健衛生対策の充実を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	○ 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業の実施について (雇用均等・児童家庭局長通知 平成17年2月21日付け雇児発0221002号) ○ 在宅福祉事業費補助金の国庫補助について (厚生労働事務次官 平成4年3月2日厚生省発老第19号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児に対し日常生活用具を給付することで、日常生活の便宜を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○対象者 小児慢性特定疾患治療研究事業の認定者であり、かつ用具の給付要件を充たす者 ○給付内容 用具の給付(便器、特殊マット、特殊便器、特殊寝台、歩行支援用具、入浴補助用具、特殊尿器、体位変換器、車いす、頭部保護帽、電気式たん吸引器、クールベスト、紫外線カットクリーム、ネブライザー(吸入器)、パルスオキシメーター) ○実施主体：市区町村 ○補助率：1/2(市及び福祉事務所を設置する町村1/2)(福祉事務所を設置していない町村1/4、県1/4)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	54	54	46	46	46	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	54	54	46	46	46	
	執行額	7	7	43				
執行率(%)	13.0%	13.0%	93.5%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児の申請に対し日常生活用具を給付する事業であり、一定の件数、人数等を、定量的な成果目標として示すことはできない。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児の申請に対し日常生活用具を給付する事業であり、一定の件数、人数等を、定量的な活動指標として示すことはできない。		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
					-	-	-	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	負担金補助及び交付金	46	46					
	計	46	46					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	小児慢性特定疾患児に対する日常生活用具の補助であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	小児慢性特定疾患児に対する日常生活用具の補助であり、国が主体となり行う事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	-
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	使途は、小慢患者の日常生活用具の補助に限定されている。
活動実績・成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-
点検結果	点検項目による評価も概ね妥当であり、引き続き、適正な執行に努めてまいりたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性などの評価は概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	409	平成23年行政事業レビュー	368

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.兵庫県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
扶助費	日常生活用具の給付	2			
計		2	計		0
B.長崎市			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
扶助費	日常生活用具の給付	1			
計		1	計		0
C.加古川市			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
扶助費	日常生活用具の給付	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	兵庫県	日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児 に対し日常生活用具を給付すること。	2	-	-
2	埼玉県	同上	2	-	-
3	京都府	同上	2	-	-
4	東京都	同上	1	-	-
5	沖縄県	同上	1	-	-
6	大阪府	同上	1	-	-
7	栃木県	同上	0.9	-	-
8	三重県	同上	0.9	-	-
9	福岡県	同上	0.9	-	-
10	長崎県	同上	0.7	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	長崎市	日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児 に対し日常生活用具を給付すること。	1	-	-
2	大阪市	同上	1	-	-
3	堺市	同上	0.9	-	-
4	川崎市	同上	0.9	-	-
5	京都市	同上	0.7	-	-
6	宇都宮市	同上	0.6	-	-
7	松山市	同上	0.6	-	-
8	鹿児島市	同上	0.5	-	-
9	浜松市	同上	0.5	-	-
10	広島市	同上	0.4	-	-

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	加古川市	日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児 に対し日常生活用具を給付すること。	1	-	-
2	高砂市	同上	0.4	-	-
3	小野市	同上	0.1	-	-
4	三田市	同上	0.1	-	-
5	明石市	同上	0.1	-	-
6	伊丹市	同上	0.1	-	-
7	多可町	同上	0.08	-	-
8	宝塚市	同上	0.06	-	-
9	三木市	同上	0.05	-	-
10	たつの市	同上	0.04	-	-